

素直な心で 花と対話



Profile みやがわ・きのほる
昭和60年5月26日生まれ。本名・宮川祐理子(みやがわ・ゆりこ)。華道・草月流の師範として活動。家庭教師や、税理士の父の手伝いをしている一面も。趣味は映画鑑賞、音楽鑑賞、バドミントン。甲森北在住。33歳。

生涯学習センター「キクロス」に入ると、優美な花とかがわしい香りが来場者を迎える。「植物は生き物。飾るうちに色合いが変わることも計算して花を生けます。四季の移ろいを表現していくので、訪れた人が少しでも豊かな気持ちになってくれれば」。昨年12月からボランティアで花を展示。作品は毎週その場で生けている。

菊池で育ち、福岡の大学へ。卒業後に帰郷した際、ふと実家に飾ってあった生け花に目が留まった。「学生時代はヒマワリやチューリップぐらいいし知らなかった」が、気づけば多くの流派が集まる花展に足を運んでいた。「見せ方の多様さに衝撃を受け、花に無限の可能性を感じました。生け花は感覚だけでなく、緻密な計算も必要。奥が深い世界で虜になりました」

4年前からフラワーアレンジメントにも挑戦。「余白で空間美を表す生け花と違い、フラワーアレンジメントは色彩豊かな花で華美に演出する。同じ素材でも見せ方が違うので、視野や感覚が広がりました」。昨年はヨーロッパアンフラワーデザイン連盟が主催する全国大会に出場。モダンアート部門で1位に輝いた。「生け花もフラワーアレンジメントも、尊く美しい花の一瞬を使う。心を込めて向き合うことで、花も応えてくれる気がして」

敷居が高い印象がある世界。「気軽に取り組める趣味として、生け花の魅力を広められたら」。これからも、植物とふれあう喜びを伝えていく。

「菊池人」 希望者を募集します

新しいことに挑戦している人、伝統を受け継いでいる人など、菊池で頑張っている人を募集します。本市在住であれば自薦・他薦は問いません。詳しくは市長公室までお問い合わせください。

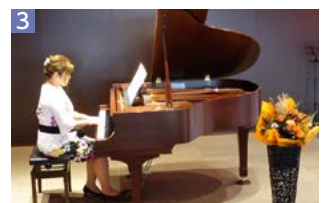
問い合わせ先

市長公室広報交流係
☎ 0968 (25) 7252



華道家

宮川 葵乃春さん



1_キクロスで開講している生け花講座は1回単位での参加も可能 2_キクロスで花を生け変える。「作品を楽しみにしてくれる人も多いため、ありがとうございます」 3_特技は幼少期から習うピアノ。大学時代は音楽系のサークルに所属し、サクスを吹いていた